

## 水道審議会から 答申書が手渡されました

令和2年11月10日に渡邊町長から諮問のあった「水道料金の見直し（改定）について」の答申がまとめられ、令和3年12月10日にときがわ町水道審議会清水隆会長から渡邊町長に答申書が手渡されました。

水道事業経営は、給水人口の減少等による料金収入の減少に加え、管路や施設の老朽化に伴う更新事業費の増大等により、今後非常に厳しい状況にあります。水道事業経営の将来の健全な運営を考慮し、答申が行われたものです。



答申書を手渡す清水会長（写真右）と、受け取る渡邊町長（同左）。



写真説明

## 小西豊作さんが瑞宝双光章

小西豊作さん（大字玉川）が、瑞宝双光章（第37回危険業務従事者叙勲）を受章されました。

この章は、著しく危険性の高い業務に精励し、特に功績が顕著な方に授与されるもので、小西さんは、昭和42年3月から42年間、警視庁に勤務されました。この間、交通機動隊配属時には白バイ隊員として、また、交通規制課においては交通安全対策及び施設の整備などに尽力され、平成21年3月、第5方面交通機動隊警部として退職されるまで、交通事故防止、道路交通環境の改善に多大な貢献をされました。おめでとうございます。



受章された小西さん。長年の勤務による功績が認められました。



写真説明

## セブン-イレブンと高齢者等 見守りに関する協定を締結

令和3年12月16日（木）、株式会社セブン-イレブン・ジャパンと、ときがわ町が協定を結びました。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域での支え合いや見守り活動などの取り組みが重要になってきています。

この協定は、ときがわ町玉川店の「24時間営業」、田中店の「セブンあんしんお届け便」というそれぞれの店舗の特徴を活かし、業務中に地域の高齢者等に何らかの異変を察知した場合、ときがわ町に通報していただくことにより、地域で発生する様々な問題の早期発見に繋げるとともに、高齢者等が安心して生活できるよう、ご支援をいただくというものです。



### 【参加者】

- ◆株式会社セブン-イレブン・ジャパン 坂戸地区ディストリクトマネージャー 服部愛さん（写真手前右）
- ◆ときがわ町玉川店オーナー 前田智也さん（写真右から3人目）
- ◆ときがわ町田中店オーナー 岡野正一さん（写真左端）

21 協定書を締結し、従業員も含めた全員で撮影しました。



写真説明

## 萩ヶ丘小の子が貴重な経験！ 見守り放送を録音しました

児童が下校する時間に流れる見守り放送は、日頃から見守り活動をしていただいている地域の皆さまに感謝の意を込めて、10月から小学生が自ら吹き込みをしています。今回は、萩ヶ丘小学校の2人に録音をしていただきました。

野中慎人さん（6年生）は、「最初は緊張したけれど、最後までやりきることができました。驚いたのは読むペースがとてもゆっくりだったことです。放送に挑戦してよかったです」。矢橋莉子さん（6年生）は「生きているうちに絶対にできないと思っていた放送を体験できてよかったです。練習をして本番では上手に録音できました」といった感想をくれました。二人による放送は、2月4日（金）まで放送予定です。



今回吹き込みを行った野中さん（写真上）と矢橋さん（写真下）。



写真説明